


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本覚寺苑	代表者	三木 啓康	法人・ 事業所 の特徴	法人は昭和49年に設立。特別養護老人ホームやデイサービス・グループホームに加え居宅介護支援事業所や姫路市より委託を受け地域包括支援センターを運営。地域密着型事業として、地域交流を含め、ご利用者の能力に応じた調理や園芸などの趣味活動等を展開し、住み慣れた地域と住み慣れた自宅での生活が継続出来るよう支援している
事業所名	小規模多機能ホーム 花田	管理者	奥田 和真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			新型コロナウイルス感染拡大の状況下であり、感染予防の観点から書面での報告や開催は致し方ないと思われるため、これらの状況が落ち着いたらまた以前のように集合する形で行えればと思う	
B. 事業所のしつらえ・環境	・自己評価結果だけではなく、前年度の総括表をもとに根拠となる資料を作成し、運営推進会議案内時に各出席者に配布する様に する	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う文書開催となり、資料として集計内容を提示する事とした	玄関の施錠は利用者の生活に対し妨げになっておらず、適宜職員と共に洗濯物を干すため屋外へ出る機会も持っている。また今般の新型コロナウイルス感染予防の観点と防犯の関係上施錠は必要かと思われる。	新型コロナウイルスの関係上外出機会自体が減少しているため、施設屋外などに利用者が憩いの場となるような椅子の設置を行ってみる
C. 事業所と地域のかかわり	・時代の流れに沿って、ホームページからの情報は必要不可欠なため、積極的に内容を更新していく ・個人情報には十分配慮した上で、事業所の様子が伝わりやすい内容にパンフレットの再度見直しを行う。パンフレットにホームページアドレスも表示する。	・法人ホームページ事業所ブログ欄に随時更新中 ・パンフレットとは別に分かりやすい料金表を作成した	前回の改善計画内容は改善されていた。	新型コロナウイルスの関係上外部との関りが少なくなっている事などから、外部への情報の場として引き続きホームページや広報誌による施設内の様子などについて公開していく。

D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・散歩も兼ねて、可能な時にはグ ランドゴルフ見学に出掛ける	・新型コロナウイルス感染拡大に 伴い外出等を自粛している状況	新型コロナウイルスの感染状況 などが収まれば地域との関りや 活動を再開するのが良いと思う	感染予防等に充分配慮及び留意し ながら、敷地内の散歩等を可能な 範囲で継続してく
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・地域包括と連携を図り、地域に 向けての共同の取組みが出来 るかどうか検討していく	・新型コロナウイルス感染拡大に 伴い事業所との共同が困難であ るが、東ブロック研修や、運営推 進会議やその他の機会時に情報 提供や意見交換等を行っている	新型コロナウイルス感染拡大の 観点及び感染予防の観点の双方 から書面での開催や研修等が中 止を含む自粛となっていた。感染 状況が落ち着いた段階で再開す ればよいと思う	
F. 事業所の 防災・災害対策			新型コロナウイルスにおける状 況下でも利用者の生命保持の観 点から施設内で避難訓練を含む 防災点検をしており良いと思う	